

# 室蘭言泉学園 新施設を建設

## 地域共生型、来春オープン

### 旧朝陽小グラウンド

社会福祉法人室蘭言泉学園(菅野登一郎理事長)は、室蘭市母恋南町2の旧朝陽小グラウンドに福祉施設「コミュニティプラザはーもにー」を新築する。同学園が運営する施設を集約し、住民が立ち寄れる地域共生型の施設を目指す。オープンは2025年4月1日。集約するのは4施設



新築工事の安全祈願祭でくわ入れする菅野理事長

で、これまで母恋北、南の両町に分散していた同学園の本部事務局と市障がい者総合相談支援室、共同生活援助事業所、日中活動センター。施設の老朽化に加え、日中活動センターの利用者が増え、施設内が手狭となっていたことから新築移転を決めた。

同学園は旧朝陽小学校舎

の室蘭市子ども発達支援センターあいくるを4月から管理運営している。グラウンドの面積は約8570平方メートルで、市が無償貸与する。

新施設は鉄骨平屋。延床面積は約1589平方メートル。本部事務局や生活介護室のほか、地域住民が足を運ぶことができるレストランやカフェもあり、利用者がウエーターとして働く就労支援も行う。コンサートが開催できるイベントホールも設ける。設計ははんさき建築事務所(半崎敏裕取締役)、施工は東海建設(中田孔幸代表取締役)。月内に本格的な工事に着手し、3月末の竣工(しゅんごう)を目指す。

菅野理事長は「同学園



「コミュニティプラザはーもにー」の完成予想図

の事業拠点場所となる。地域と結びつけるような共生型を念頭にした事業を展開していきたい」と述べた。

23日に開かれた安全祈願祭には約50人が出席。菅野理事長がくわ入れし、関係者が玉ぐしをささげて、工事中の無事を祈った。(坂本綾子)